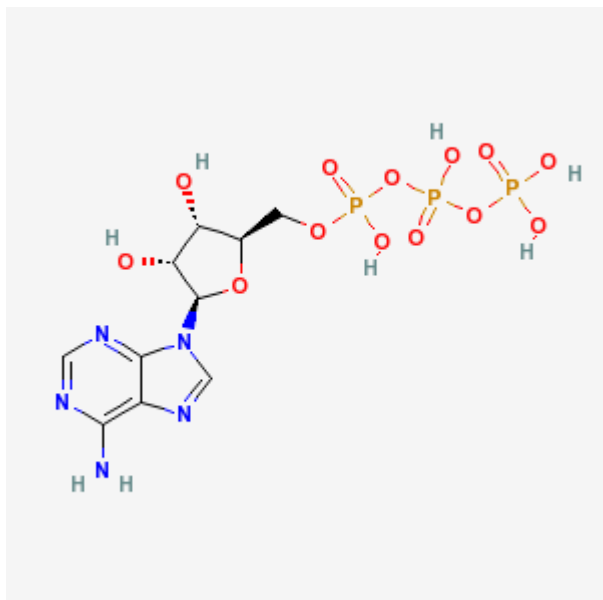


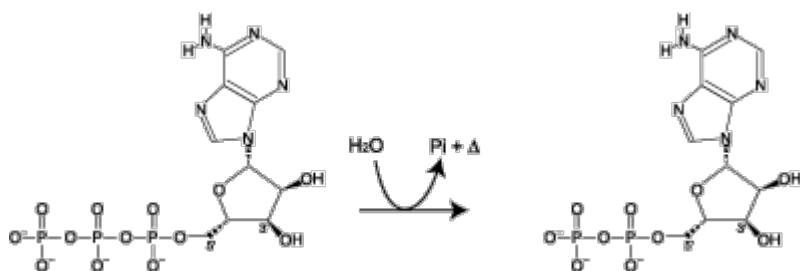
ATP

アデノシン3リン酸 (ATP) は、塩基として**アデニン**を持っている**核酸**。発エルゴンのなADPへの加水分解反応によって、生体内での「エネルギー通貨」として重要な役割を担っている。また、シグナル伝達因子として働いたり、RNAやDNAの原料となる。

名前 ATP



ATPの加水分解



ATP → ADP + Pi	
標準状態	$\Delta G^{\circ} = -30.5 \text{ kJ/mol} (-7.3 \text{ kcal/mol})$
生理条件下	$\Delta G \approx -50 \text{ kJ/mol} (-12 \text{ kcal/mol})$

ΔG° は標準状態かつ生理学的条件下(pH7.0)。 (単位のメモ)

リンク

- Adenosines
 - [ATP](#)
 - [ADP](#)
 - [AMP](#)

- [cAMP](#)

核酸, 化学構造

From:

<https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link:

<https://bio.edu-wiki.org/atp>

Last update: **2013/06/09 09:07**

